



No.112



# CIR 活動ページ

アメリカ出身の霧島市国際交流員、イー・ジェリーです。3月に入り、本格的な春到来の時期になりました。平成最後の冬は私が霧島で過ごす初めての冬でしたが、今年の冬は暖かく、全然冬らしくなかったです。まるで、秋からそのまま春に入ったようです。霧島山に雪が積もる姿を見たかった私は少しがっかりしましたが、冬のないサンフランシスコから来た私にとって、こういう冬は過ごしやすく、最高だと思います。では、国際交流員である私たち3人がこの冬らしくない2月にどのような活動をしたか紹介します！

## 国際親善ナンコ大会

霧島市国際交流協会は2月1日に今年度の国際親善ナンコ大会を行いました！清姫温泉で外国人と日本人44名が「ナンコ」という鹿児島島の伝統的な遊びをしながら交流しました。ナンコのルールは簡単ですが、遊び方はとても戦略的で、難しいです。私は相手の心を全然読むことができず、ボロ負けしましたが、皆さんと話したり、交流したりすることができ、楽しかったです！



## タンユアン 国際料理キッチン～湯圓～

今年の2月19日は旧暦の小正月であり、中国と世界各地の華僑コミュニティの中では「元宵節」と呼ばれています。元宵節というのは、中国の新年の最終日であり、旧暦の1月15日にあたります。家族の団結を祈念するために、中国人はその日に「湯圓」を食べる習慣があります。日本の白玉団子のような湯圓は中国の地方によって作り方や味が異なる。私は中国の交流員・李迪さんとコラボレーションをし、2種類の湯圓を参加者に紹介しました。中国北方から来た李さんは西安でよく食べられているゴマの入った甘い湯圓を紹介しました。一方、故郷が中国南方の広東省である私は台山の野菜などのスープに入れる塩っぱい湯圓を紹介しました。李さんは元宵節の歴史と風習も紹介しました。今回の料理は中国の地域の違いを伝えたかったので、私はミニ広東語講座を行い、広東省の方言である広東語のあいさつ等を参加者の方々に学んでいただきました。

## 初午祭

2月24日は、室町時代から続いている初午祭でした。あいにくの雨でしたが、参加者の皆さんは雨の中で楽しく踊ったり、歌ったりしました。私は初めて初午祭に参加したので、初午祭の踊り方を覚えるのが大変でした。踊り方は簡単でしたが、初午祭のベテランの皆さんのペースとリズムに合わせるが一番難しかったです。天気は良くなかったのですが、皆さんの笑顔と精神で初午祭を踊り終えた後の私の心は晴れ晴れでした！

